

パラグアイは隠れた釣りの名所



写真1(釣り場)

こんにちは。ヘネラル・アルティーガスで活動している恵木です。

写真1はパラナという川です。対岸はアルゼンチンです。

アルティーガスから車で2時間ほどのAyolaという地域で巨大な水力発電所、Yacyretá Damの付近にあります。ここは自然保護地域になっているため、釣りをするには登録が必要です。

登録料は一回50000Gs(1000円程度)です。また、厳しい規定があり、持ち帰ることができる魚は種類別にサイズが決まっています。規定サイズより小さいものを持ち帰ると罰金を取られます。聞くとところによると1万円~3万円程度だそうです。これは、パラグアイでの1~2か月分の生活費に相当します。規定サイズを守り、楽しく釣りをしましょう。



写真2(川サーモン釣ったぞー！)

Ayolaではたくさんの魚が釣れます。今回釣ったのは川サーモンです。刺身にしても焼いても美味しい優秀な魚です。エサはトウモロコシの発酵させたものかミミズを使います。

お世話になっているピラポに住んでいる日系の方と行った日は、大漁で各自 5 匹程度の釣果がありました。しかしながら、狙っていたボガと呼ばれるコイ科の魚は釣れなかったので、再挑戦を誓いこの日は帰宅しました。今は大豆の収穫で忙しいらしく、この日以来一緒に行けていません。帰国までにもう 1 回は行きたいです。



写真 3 (カウンターパートの子どもと共に)

次はアルティエーガス市内の釣り場です。市内なので、暇になると出かけています。今回はカウンターパートとその息子と一緒にきました。ここではナマズ科の魚やドジョウのような魚が釣れます。エサは肉と釣り上げた魚を刻んだものを使います。雨が降った 2 日後ぐらいがよく釣れるようで、この日は多くの方が釣りをしていました。

釣り竿はサトウキビや竹を切り、先に糸を付けるという簡易なものを使っています。スペイン語で釣り竿は **Caña de pescar** (**caña** は「茎」という意味で、**de pescar** は「釣りの」という意味です)といい、文字通りの道具となっています。残念ながら、この日の釣果はカウンターパートを含めて 2 匹のみでした。週末に再度行き今度こそはたくさん釣ります。

帰国の日が近づき、ムービングセールで身の周りの品を整理し始めました。午後になるといろいろな人が部屋に来て、どんどん買ってくれます。今のところ 300000GS(6000 円)程度のものが売れました。不要品はまだまだあるので、どこまでの金額になるか楽しみです。

最後の一瞬まで楽しみながら、やり残しがないように活動していきます。